



～児童発達支援センター あけぼの学園～

あけぼの学園は、心身の発達に課題や心配がある乳幼児の発達支援を行う施設です。

療育（治療保育）を行う保育士、専門的な訓練援助・相談を行う言語療法士、作業療法士、理学療法士、臨床心理士などが支援します。

療育には、市民の皆さんが利用しやすいように、毎日通園する通園グ

「子どもの遊び場」「健康」「相談」などのお知らせや呼び掛けを、子育て世代に向けて発信するコーナーです。

ループと、週1回通園する療育グループがあります。最近は、利用希望者が増加傾向にあり、その需要にお応えするために、療育グループは土曜日も開設しています。

また、スタッフが地域の保育園などで集団生活に困っている児童が在籍する保育園などへ出向いて支援す



る「保育所等訪問支援」も実施しています。

心身の発達に心配のある児童に対する発達支援は、今後も質的・量的に充実していく必要があります。そのため、学園施設を利用する支援はもとより、地域への支援の充実を図り、発達支援の中核的役割を担うように努めています。

また市民の皆さんがより利用しやすい学園にするため、施設整備も視野に入れ、今後の学園のあり方を検討しています。

問い合わせ先

児童発達支援センターあけぼの学園
(☎322-2714 FAX322-2716)



～近鉄内部・八王子線沿線の文化財を訪ねて～

小古曾駅と内部駅間の線路の周辺には、米田遺跡があります。

南東側を走る国道1号までの低地帯が遺跡範囲と考えられます。

この辺りは、かつて水田が広がっていました。平成5～6年にかけて、遺跡範囲のほぼ中央部の発掘調査が実施され、主に中世の遺構や遺物が出土しました。

調査で見つかった遺構には、2基の井戸のほか、旧内部川の流路と考えられる落ち込みがありました。一

今回紹介するのは、内部地区にある「米田遺跡」です。現在は水田や宅地ですが、発掘調査で、地中には中世の人々の生活の痕跡が埋もれていることが分かりました。

方で建物跡が見つからなかったことから、調査地点は当時の集落の中心ではなかったと推定されます。

出土遺物は、古いものでは弥生土器がありますが、ほとんどは鎌倉時代から室町時代のものです。土師器の鍋・皿のほか、青磁・白磁などの高級な磁器、山茶碗や常滑焼などの陶器があり、中には墨で文字や記号が書かれたものもありました。

また、低地で地下水位が高かったために木製品も比較的良い状態で残っていました。中でも、鬼瓦のように寺院や神社の屋根に取り付ける「鬼板」は、その特徴から13世紀後

半のものと考えられ、発掘調査で出土した例は、全国でも初めてのことでした。

「鬼板」などの出土遺物は、2月22日～4月6日まで博物館「館蔵品展IV」(3階サルビアギャラリー)で展示されます。



寺院や神社の屋根に取り付ける「鬼板」

問い合わせ先

社会教育課
(☎354-8240 FAX354-8308)

有料広告掲載欄



マスコットキャラクター「ココロくん」

LPガスと太陽光発電など、複数のエネルギーを有効に組み合わせ、エコと快適を両立したライフスタイルを提案します。

エネルギーと住まいの
朝日ガスエナジー株式会社

TEL: 059-332-2311

四日市市西坂部町4789-2

URL <http://www.asahigas.co.jp>

E-mail info@asahigas.co.jp

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

市内各地で開催されたイベントなどを写真と文章で紹介するコーナーです。



音楽と語り～みんなであつなろう 幸せコンサート～ (12月8日 橋北地区)

「花れん&扇谷研人」による人権に関するお話や映像を織り交ぜた心温まるコンサートが、人権週間(12月4日～10日)にあわせて開催され、地域住民を中心に約150人が参加しました。難しいと思われがちな人権について、話を聴くだけでなく、歌や映像を通して触れることで、参加者が身近に人権を感じることができると好評でした。



春の七草と食べられる野草(1月5日 川島地区)

1月7日の七草を前に、川島地区乱飛のビオトープ周辺で自然観察会が開催されました。参加者は、講師の指導のもと、春の七草である、セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラをはじめ、ヨモギ、スイバなど、多くの種類の食べられる野草を採取することができました。その後、川島地区市民センターで、七草がゆと野草の天ぷらをおいしく食べました。

私の好きな

四日市



市民の皆さんから市内のすてきな風景や、その風景をバックにしたお茶目なお子さんなどの写真を寄せていただくコーナーです。今回はどんな写真かな？

あなたの好きな四日市の写真を募集！

ご応募は、住所、名前(ふりがな)、電話番号、コメントとともに、メールか郵送、直接、〒510-8601 広報広聴課(市役所8階 ☎354-8244 FAX354-3974 ✉kouhoukouchou@city.yokkaichi.mie.jp)へ。選定の上、広報よっかいちで掲載します(ご応募いただいた作品は返却しません)。



▶▶桜町にお住まいの田村章さんからの投稿

東海道沿いの常夜燈。60年前、初めて撮った写真がこの常夜燈だったとのこと。「付近の景観が変化しても、変わらずある常夜燈をうれしく感じています」とお気に入りの景色を送っていただきました。



▶▶和無田町にお住まいの辻土至雄さんからの投稿

「夕ぐれ」とタイトルの付いた壮大な写真を送っていただきました。流れる川の水の動きが、とても美しく撮影された一枚です。

有料広告掲載欄

4/13
(日)AM10時～
雨天の曜日は0日

ひなた農園

たけのこほりませんか？

当日はたけのこほりの後、たけのこの丸焼きとたけのこの刺身の試食会がごさいます。

参加費用：中学生以上500円、小学生以下無料
準備：汚れても構わない動きやすい服装でおこください。
(お持ちなら長靴・軍手・スコップなどをご用意ください。)

開催前日までにTEL、FAX、メールなどでお申し込みください。
駐車場が限られているため、可能な限り乗り合わせて来ていただきますようお願いいたします。



株式会社ひなた

三重県四日市市蒔田2丁目6-2

☎:059-361-2360 ☎:059-361-2361

✉:kk_hinata@alpha.ocn.ne.jp

営業時間:9:00～17:00(土・日祝日を除く)

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。